

登録コード	J5220300	開講年度	2026					
授業科目	管理会計					担当教員	関 利恵子	
英文授業名	Managerial Accounting					副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限		対象学年	(20・23カリ対象科目) 経：3年/法：3年
講義室	経法第3講義室			授業区分	講義	遠隔授業科目		
信大コンベンション	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】		
	経法20加							
	現代社会が抱える課題に対して、社会科学の専門性を軸とする解決方法を提案し、自然科学と協働しながら課題解決に導く力を身につける。					現代社会が抱える課題に対して、管理会計はその解決に向けて、課題を定量的に可視化させ、意思決定を支援することで、社会科学と自然科学の協働を促進させ、持続可能な組織運営に向けた解決策を検討する力が身につく。		
	経法23加(2026改)・応用経済、経法23加・応用経済							
	専門知識を応用・実践する力として、計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価、実験経済学による社会制度の機能の検証、医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題究掘、法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証、などのスキルを習得し、経済の実情に即した政策提言、あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。					管理会計は、管理会計的分析手法を活用することで、コストやリスクを定量評価する力が養われる。、そして、経営・政策決定に役立つ管理会計情報を活用することで、実践的な課題解決能力を身につけることができる。		
	【2020年度以降対象】専門領域での基礎知識として、経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして、経済理論の応用分野として、金融、公共政策、法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで、専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。					専門領域での基礎知識として、原価計算及び管理会計に関連する会計手法を身につけることができる。そのうえで、管理会計の知識を活用した具体的な問題解決策を考えることができるようになる。		
	経法23加(2026改)・総合法律、経法23加・総合法律							
	法学の専門領域の基礎能力として、リーガルマインドを備え、現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識を身につける。					現代社会の諸問題を法的に解決していくうえで、管理会計は組織内部のマネジメントのあり方などを検討する知識を身につけることができる。		
	環境問題や、企業や行政の組織内において、日々生起する諸問題について、理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち、総合的に解決していくことのできる能力を身につける。					様々な組織において日々生起する諸問題の解決に向けて、管理会計の学習は有効で効率的な判断を可能とする能力を身につけることにつながる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	管理会計（Management Accounting）は経営会計とも呼ばれ、企業の経営管理を行うための会計であり、一般に経営者や管理者が意思決定や業績評価を行う際に利用されるものとされています。しかし実際の企業経営においては、持続可能な経営を実現するために、トップマネジメントから現場の担当者に至るまで、組織の各階層が会計情報を活用して日々の管理活動を行っています。 本講義では、まず原価の構造やコスト概念を理解し、原価情報がどのように把握・整理されるのかを確認したうえで、短期利益計画、原価管理、予算管理、意思決定など、管理会計が経営にどのように活用されるのかを体系的に学びます。そのうえで、実務における活用事例にも触れながら、管理会計情報を経営管理に役立てる視点を養います。							
(5)授業計画	本講義は現時点では概ね以下の計画で行なう予定です。ただし、詳細な講義計画は第1回目の講義ガイダンスで説明するので、履修希望者は講義ガイダンスに出席してください。 第1回 イントロダクション <原価計算> 第2回 原価分類 第3回 製造間接費の配賦 第4回 個別原価計算 第5回 総合原価計算 仕組み 第6回 総合原価計算 工程別・組別 第7回 中間試験 <管理会計> 第8回 短期利益計画とCVP分析 第9回 原価管理 標準原価計算 第10回 原価管理 差異分析及びコストマネジメント 第11回 予算管理 第12回 実務における管理会計<ゲストスピーカーによる講義> 第13回 意思決定会計 第14回 設備投資意思決定 第15回 講義総括ーその他の管理会計手法ー * アンケート 定期試験							
(6)成績評価の方法	本講義の成績評価は次のとおり。 中間テスト 40％ 定期試験 45％							

(6)成績評価の方法	講義内レポート・チェック問題 15 % (但し、第1回、中間試験、第15回は除く。)
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同じレベルの問題が解ければ「合格水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」。
(8)事前事後学習の内容	予習、復習については、e-alpsに掲載したレジюмеとプレシートで受講回の講義内容の概要を把握したうえで講義に出席し、講義内に実施するチェック問題で理解度を深めていくことが単位取得につながっていきます。
(9)履修上の注意	履修希望者は第1回目の講義ガイダンスに出席すること。 講義レジюмеは第1回目以降はe-alpsに掲載します。
(10)質問,相談への対応	質問は、e-mailか講義直後に受け付けます。面談を希望する場合は、事前にe-mailでアポイントメントを取ってください。 e-mailで質問をする場合には、件名に「管理会計の質問」本文には学籍番号と氏名の記入をお願いします。
【教科書】	ガイダンス時に指定いたします。
【参考書】	岡本清・廣本敏郎『検定簿記ワークブック2級 工業簿記』中央経済社・定価 990円